

ニューズレター

第7号

2016年4月1日発行



(公財) 日本テニス協会
テニスミュージアム委員会

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1
岸記念体育会館
電話:03-3481-2321

ニューヨークカップの復元と里帰りに際して

ニューヨーク・日本クラブ会長 高橋 規

1921年にニューヨーク日本クラブより日本庭球協会に寄贈されたニューヨークカップが、この度、貴協会のご尽力により復元され、94年ぶりに当クラブに里帰りし、畔柳会長よりじきじきにお披露目頂きました。また、小田テニスミュージアム委員長、川延常務理事、平木常務理事にもご同席いただき、大変晴れがましい思いを致しました。ご配慮に心より感謝申し上げます。

お披露目当日、当クラブ顧問の高橋礼一郎・ニューヨーク総領事大使にもご臨席の上、ご挨拶いただきました。今回、見事に復元されたニューヨークカップに触れ、デ杯決勝での日本人プレイヤーの大活躍から貰った感動と勇気に、その感謝の念をこのカップに込めて贈った当時の在ニューヨークの日本人の熱い想いに触れる機会となりました。

改めて、この度の貴協会によるニューヨークカップの復元と当クラブへのご報告に感謝申し上げます。また、このカップが今後末永く、在ニューヨークの日本人同胞と、貴協会のご発展と共にありますよう心より祈念申し上げます。



復元されたNYカップを披露 於: NY日本クラブ 写真左からA.Molina氏(カップ製作会社Black, Starr & Frost社CEO)、平木理化常務理事、高橋規日本クラブ会長、畔柳信雄日本テニス協会会長、高橋礼一郎在NY日本総領事大使、小田晶子委員長、川延尚弘常務理事

第90回記念橋本総業全日本テニス選手権大会に寄せて

大会副会長 渡邊康二



今年も今シーズンの最後を飾り、日本一を決定する橋本総業全日本テニス選手権大会が開幕の運びとなりました。ご出場頂きました選手の皆さまには心からお祝いとお礼を申し上げる次第です。

今回は1922年、大正11年の第1回大会から数え第90回という輝ける歴史を示す大会となりました。本大会の歴代優勝者を見てみると、まさに日本のテニス界の殿堂を見る気がいたします。第1回の優勝者は皆様もよくご承知の通り、「この一球」で有名な福田雅之助さんです。

日本テニスの先駆者で最も偉大な先輩、熊谷一彌さん、清水善造さん、柏尾誠一郎さんらの名前はありますが、1921年デ杯初出場場でチャレンジラウンド・即ち決勝戦に進出し、ニューヨーク・フォレストヒルズの舞台で惜しくもアメリカに敗れたもののその対戦で得た利益の分配金を基本財源として日本テニス協会が設立されました。そしてその年にこの大会の第1回が開催されたわけです。

そういった意味では熊谷・清水・柏尾選手のお名前を決して忘れるわけにはゆきません。そのデ杯の活躍を記念してアメリカの日本人会から送られましたニューヨークカップが、この大会の男子優勝者に授与されておりましたが、一度は焼失したのですがこのほど日本テニス協会テニスミュージアム委員会の大変な尽力により復元され、丁度この全日本で展示されることになりました。遠い一世紀近くも前の歴史をひもとく、日本テニスのルーツを知る意味でも、テニス愛するものとして是非ご覧頂きたいと思っております。

今大会は、90回記念大会特別枠として橋本総業、橋本社長の肝入りにより九地域協会推薦による選手がWCで参加頂いており、多くのジュニア選手が参加、一方39歳の大ベテランの鈴木選手、福田勝

志選手に挑戦するという幅広い選手層の戦いに興味を持たれます。

ジュニア諸君は、今大会を機に本大会を是非身近に感じました愛着を持っていただければ、日本のテニス全体のレベルアップと普及に大きな効果が期待できると確信しております。それによって選手・指導者・ファンが一体となりスポーツ界の中でもよりメジャーな地位を確保できればと期待している次第です。

今大会より新しく日本テニス協会名誉総裁にご就任頂きました眞子内親王殿下にお成り・ご観戦を頂き、また天皇杯を授与頂く予定となっております。

選手諸君の真剣で素晴らしいプレーをご観戦頂けることを期待しております。(レセプション会場でのスピーチを一部掲載)



畔柳会長と男子シングルス優勝者・内山靖崇選手により来場者に特別披露されたNYカップ
写真撮影: 安藤 晃



第1回男子シングルス優勝の
福田雅之助選手
写真提供：高木敬三氏（東京ローンTC会員）

私がニューヨークカップに関心を寄せたのは、つい、最近の事で父の生前には「立派なカップだった」とだけ聞き、詳しい事は何も聞いて居ませんでした。何かの折、父の集めた写真を見て居たところ、ニューヨークカップを抱いた一枚のスナップ写真を見つけました。これがニューヨークカップか、確かに大きい。

その後、テニスの歴史資料について話をしていた後輩のO氏が「福田先生が『ニューヨークカップが戦災で焼失してしまったのは残念だった』と話されました」と聞き、改めて資料を辿ってみました。早大庭球部創立70周年記念誌（昭和49年発行）には「1922年9月9日から東京帝大コートで日本庭球協会主催の第1回全日本庭球選手権大会が行われた。ベスト8で原田武一（慶大）は福田雅之助（ポブラ）に6-2,7-5,2-6,4-6,6-1で敗れ、さらに福田は準決勝で後輩の川妻（早大）を破って決勝に出た。太田芳郎（高師）と鳥羽貞三（神商）は大接戦で鳥羽が6-4,6-1,で2セット先取するが、固くなり打てず、太田が6-1,6-4と追撃、その後は太田の勝ちとなった。決勝は福田の正確なストロークとボレーは太田を押し、6-2,7-5,7-5でニューヨークカップを獲得した。また、このカップが復活されなかったのは実に遺憾である。」と記されて居る。私は第20回までの優勝者の母校関係者にカップを抱いている写真などが無いか聞いて回りました。

「立派なカップだった」

テニスミュージアム委員 福田達郎



たが、見つかりませんでした。益々、現物が見たいと共に由緒あるカップを復元して後世に伝えていかなければならないと思うようになりました。多くの皆様のご支援、協力により復元されたカップを目にして感無量でした。没後40年の父も、さぞ、喜んで居る事と思います。

■驚見保選手を偲ぶ

『昭和17年（1942年）』の項に全日本は明治神宮国民鍛錬大会と合併して田園コートで行われた。あまり振るわなかった驚見（保）が俄然、当たり出し、決勝において田辺（信）（慶）を6-1, 6-0, 6-1という素晴らしい当たりを見せて、ニューヨーク杯を獲得した。好漢彼が生きていたら、きっと、今も暴れて居る事だろう。大東亜戦の犠牲となってマニラの塵になった。ニューヨーク杯も彼の住居御影で爆撃の灰と化したと言う。人と杯ともに惜しい。



驚見保選手（手前）と父・豪雄氏（東京高師OB、1922年全日本ダブルスBest 4の戦績保持者）

記：福田雅之助 早大庭球部50周年誌より抜粋

■カップ復元に寄せて



全日本選手権ミュージアム展示で輝くニューヨークカップを見て、感無量でした。本当に復元されたのですね。いろいろとご苦労があったことと思いますが、見事に実を結んでよかったです。

テニス史研究者・元テニスミュージアム委員 岡田邦子



ニューヨークカップ復元のお礼

テニスミュージアム委員長 小田晶子

日本テニス界を始め、スポーツ界には明るいニュースが多く聞かれます。皆様、お障りなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

Japan Open 2015開催の折、秋篠宮殿下と新総裁にご就任された眞子内親王様に、お揃いで歴史展示会場にお成り頂きました。テニス史に大変ご造詣の深い殿下は、終始、眞子様に会場内をご案内くださり、大変、光栄に存じました。

既にご案内の通り、多くの皆様の暖かいご理解とご支援のお蔭で募金目的の一つである史資料の収集、整理に沿った事業として、日本人として初のオリンピックメダルを獲得された熊谷・柏尾選手の銀メダルレプリカ作成（2013年）に続き、日本テニス協会誕生の

貴重なシンボルとも言えるNYカップが復元されました。

NYカップ製作費用は為替差損が約70万円在りましたが、今年度の募金総額は目標の400万円を大きく上回り、下記ご報告の通りです。皆様のご支援に感謝申し上げます。

未だ未だ、山積する作業は残って居りますが、終わりなきプロジェクトは一步一步ながら地道な活動を継続して居ります。次の目標は「全日本90年の歴史」のDVD作成です。第2期中期5カ年計画を遂行しながら最終目標であるミュージアム設立に向け前進して参ります。皆様のご健勝を祈念いたしますと共に、引き続き、皆様のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

平成27年度 特定寄附金 テニスミュージアム※ 会計報告書

平成27年4月1日～平成28年2月29日

平成26年度末基金残高	20,092,458円
平成27年度寄附金額	5,621,857円

ニューヨークカップ復元予算	3,500,000円
ニューヨークカップ復元費	4,396,875円

※「特定寄附金テニスミュージアム」:

「宮城黎子記念・JTAテニスミュージアム基金」を継承

平成27年度委員会活動費 JTA予算 400万円
 主な活動 ジャパンオープン・全日本選手権歴史展示事業
 史資料の収集・整備、データベース化作業
 ニュースレター発行
 webテニスミュージアム更新
 委員会・プロジェクト会議開催

〈掲示板〉

●テ杯「甦る田園コロシアムの熱戦」DVD、フェド杯「日本女子選手・栄光への道のり～フェデレーションカップの時代～」DVDのをご希望の方はミュージアム委員会にお問い合わせ下さい。「日本のテニス」、テニス絵葉書（3種類）は、JTAwebサイト出版物頒布で販売しています。URL:<http://www.jta-tennis.or.jp/>

●古いラケット、文献等のテニス史資料の情報、又、住所、姓名の変更も、JTAテニスミュージアム委員会Email:museum@jta-tennis.or.jpまでお知らせ下さい。

●テニスミュージアムの常設展示は有明テニスの森公園の事務所ホールで行なっています。お近くにお越しの際には、お立ち寄り下さい。



特定寄附金「テニスミュージアム」へのご寄附のお願い

振込先口座名：公益財団法人日本テニス協会 寄附金
金融機関：ゆうちょ銀行 口座番号：00130-0-504638
振込先口座名：公益財団法人日本テニス協会 テニスミュージアム寄附金
金融機関：三菱東京UFJ銀行 支店名：渋谷中央支店 口座番号：(普通) 0272922

クレジットカードによる寄附は、JTAホームページ募金サイトから直接お申込み頂けます。

■テニスミュージアム委員会■

委員長：小田晶子 副委員長：矢澤 猛
 常任委員：後藤光将、武内 勝、福田達郎、小林やよい、越智和夫、小川あさ子、西澤太郎
 プロジェクト委員：宮城 淳、我孫子和夫、市山 哲、小沢 剛、川地 孝、栗岡 威、吉井 栄、佐々木康次

楽天ジャパンオープン2015

(2015.10.5～10.11、於・有明コロシアム 2 階ロビー)



4大会を特集した展示パネルはWEBミュージアムのサイト <http://www.jta-tennis.or.jp/history/tabid/509/Default.aspx> でご覧いただけます



▲テ杯コロンビア戦に勝利し、ワールドグループ残留を果たした(15.9. 21～23、於:ペレイラ) 錦織選手サイン入りの公式ウェア (提供: IMG) の前で喜びの植田実監督



▲Baby Steps 作者: 勝木 光氏の原画を展示 (所蔵: 講談社)



▲第 28 回ユニバーシアードは、男女複とも銅メダルを獲得(15.7.4～12 於: 韓国光州) 男子 上杉・今井組、女子 吉富・林組



▲ミニチュアテニスセットと初期の子供用ラケット(羽根つき用を代用) 1870 年(横浜山手・テニス発祥記念館所蔵)

第90回記念橋本総業全日本テニス選手権大会展示

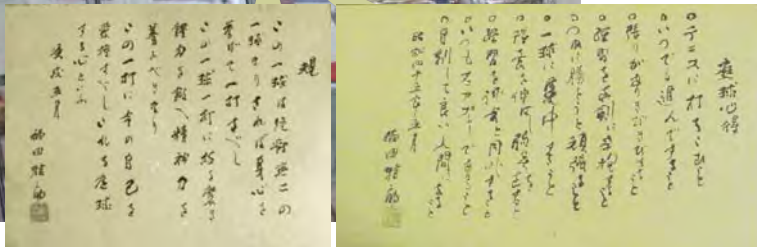
(2015.10.31～11.8、於・有明コロシアム 1 階ロビー)

全日本選手権を特集したパネルはWEBミュージアムのサイト <http://www.jta-tennis.or.jp/history/tabid/510/Default.aspx> でご覧いただけます



▲天皇杯

▲全日本選手権、単3連覇、複4連覇の山岸二郎選手の関連品展示(協力: 故山岸 孝氏、鎌倉ローンテニス倶楽部)



▲福田雅之助氏の書「この一球(規)」(左)、「庭球心得」(右) 寄贈者: 河村光太郎氏

▼単4連覇、複1回優勝の吉田(沢松)和子さんと単複共に3回優勝の渡邊康二JTA副会長



▲復元が完成したNYカップを熱心に見る来場者の方々



▶ITF世界チャンピオン女子車いす部門の表彰を受けた上地結衣選手

